

2022年度 認定社会福祉士対応  
災害支援活動者養成研修

「支援を受け入れた立場から」

広島市安佐南区社会福祉協議会  
石田 浩巳

多発する災害(抜粋)

2014(H26)年度

- ・8月 台風12号大雨(高知県、山口県岩国市・和木町)
- ・8月 土砂災害(広島市安佐南区、安佐北区)
- ・9月 御嶽山噴火

2015(H27)年度

- ・5月 口之永良部島噴火(鹿児島県)
- ・9月 台風18号豪雨(関東・東北)

2016(H28)年度

- ・4月 熊本地震
- ・10月 鳥取県中部地震
- ・12月 糸魚川市大規模災害

2017(H29)年度

- ・7月 九州北部豪雨(福岡県朝倉市・東峰村、大分県)
- ・10月 台風21号(三重県伊勢市、和歌山県新宮市等)

2018(H30)年度

- ・4月 鳥取県西部地震
- ・6月 大阪北部地震(大阪府茨木市、高槻市等)
- ・7月 豪雨(岡山県、広島市安芸区・南区・東区・安佐北区、東広島市、呉市、三原市等)
- ・9月 北海道胆振東部地震

## 災害が起きる主な要因

### ①誘因

地震、大雨、雷、強風、大雪、噴火等

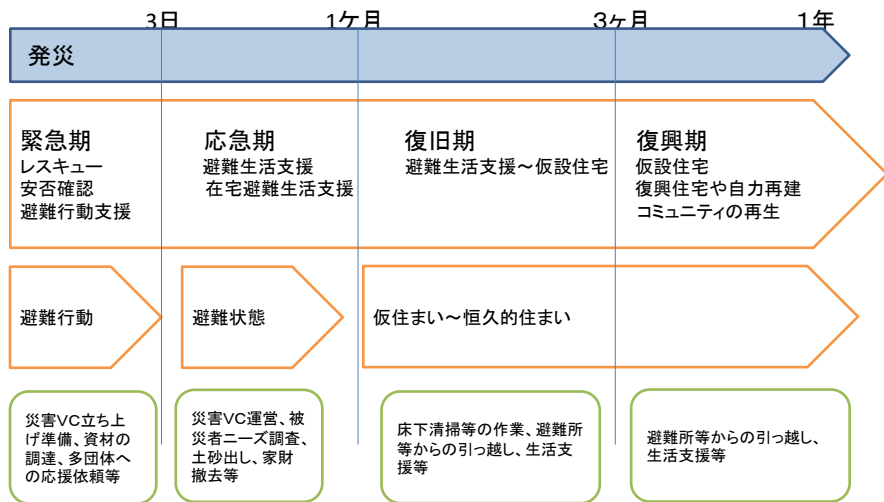
### ②災害現象

液状化、地盤振動、津波、河川洪水、  
土石流、斜面崩壊、火災、なだれ等

### ③自然、社会要因

都市か過疎地域か等

## 災害支援の変化

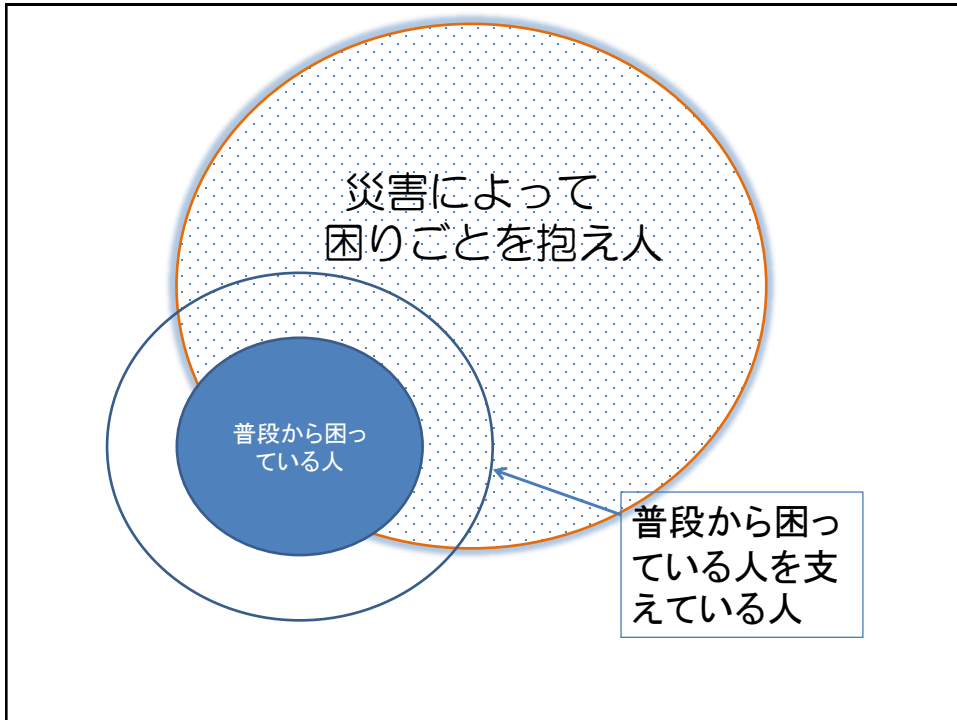


## 普段の生活の中での困りごと

- 買い物や通院の交通手段
- ゴミだしが大変
- 子育てで孤立
- 庭の手入れができない
- 精神疾患が原因で近所付き合いがうまくできない 等

## 災害が起きると困りごとが増える

- ①避難したけど物資がない
- ②暑い
- ③寒い
- ④狭い
- ⑤衛生状態が悪い
- ⑥プライバシーがない
- ⑦家の中がぐちゃぐちゃ
- ⑧家の前に土砂や流木
- ⑨田んぼに土砂
- ⑩お金や通帳、印鑑の紛失
- ⑪薬が飲めない
- ⑫ペットがいて避難できない
- ⑬車が動かなくなった 等



## ★被災者支援制度

災害救助法	避難所・仮設住宅の提供・住宅の応急措置や日常生活に欠かせない最小限の「応急修理」、災害救助基金、福祉避難所、被災者の救出、炊き出し、飲料など
被災者生活再建支援法	本格的な復興を進める段階に対応「全壊・大規模半壊・中規模半壊に応じた補修費や購入費の支給」
災害弔慰金法	死亡した遺族や重度の障害を負った方への見舞金。災害援護資金の貸し付け

- ・自治体独自の支援
- ・災害復興住宅融資
- ・税や公共料金などの減免
- ・地震保険
- ・火災保険や共済
- ・義援金

## ★災害対策基本法

国土並びに国民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、防災に関し、国、地方公共団体及びその他の公共機関を通じて必要な体制を確立し、責任の所在を明確にするとともに、防災計画の作成、災害予防、災害応急対策、災害復旧及び防災に関する財政金融措置その他必要な災害対策の基本を定めることにより、総合的かつ計画的な防災行政の整備及び推進を図り、もって社会の秩序の維持と公共の福祉の確保に資することを目的とする（第1条）。

### そこで、災害ボランティアセンター①

近隣住民によるたすけあいが  
災害により機能しないところを  
ボランティアの力を借り  
復旧・復興に向けて  
被災者が自立・生活再建することを目指す

## そこで、災害ボランティアセンター②

一日も早く日常生活を  
再開させること

## 災害ボランティアセンターの歴史

- 1994(H7)年度  
阪神大震災(ボランティア元年)
- 1997(H10)年度  
ナホトカ号重油流出
- 1998(H11)年度  
福島・栃木水害、高知水害
- 2004(H16)年度  
新潟福島豪雨、福井豪雨、新潟中越地震
- 2011(H16)年度  
東日本大地震

## 災害ボランティアセンターの目的

- ①被災された方が一日も早く日常生活を再開させること。**ボランティア活動による支援のため設置**
- ②状況に合わせて生活の再建に必要なあらゆる分野で支援  
→支援内容…泥だし、清掃、荷物の運びだし、引っ越し、重機などの技術系作業、除雪、炊き出し、サロンなどの居場所づくり、洗浄、様々な手続き等

## 災害ボランティアセンターを 社会福祉協議会が担う意義 その1

社会福祉協議会（通称：社協）は、地域住民が住み慣れた地域で安心・安全に暮らしていくために、地域福祉やボランティア活動を推進する団体です。

そのために、自然災害が発生した場合、社協は被災された人々ができる限り早く被災前に近い暮らしに戻れるように仕組みをつくる役割を担います。

## 災害ボランティアセンターを 社会福祉協議会が担う意義 その2

その一つとして、被災者とボランティア活動者・団体等の支援者をつなぐ、「災害ボランティアセンター」を立ち上げます。

## 災害ボランティアセンターを 社会福祉協議会が担う意義 その3

- 1 日頃から地域福祉の推進役として地域住民やNPO団体など地域の関係機関とともに連携・協力し、顔の見える関係づくりを行っており、公平・中立な組織であるため、他団体からの協力が得られやすい。
- 2 援助や見守りが必要な人の相談や支援を行い、地域の状況を把握している。
- 3 行政機関等、公的な機関との関係性が深く、スムーズな連携が可能。



## 災害ボランティアセンターを 社会福祉協議会が担う意義 その4

- 4 ボランティアセンターを運営しているため、ボランティアとボランティアに来てほしい人をつなぐ知識・実績がある。
- 5 社協は全国的な組織であり、他都市の社協から人的、物的支援を受けることができる。
- 6 災害時だけでなく、区災害ボランティアセンター閉所後も、社協の本来機能として被災者の生活支援を継続して行うことができる。

## 災害ボランティアセンターの機能

- ①被災者ニーズへの対応  
被災者の相談受付、被災世帯調査、潜在ニーズの発掘、ボランティア活動調整、専門機関や被災者支援制度へのつなぎ
- ②ボランティアの募集  
インターネットを活用した募集、地元関係者への声かけ、会議等での呼びかけ
- ③ボランティア活動のマネジメント  
ボランティア受付、オリエンテーション、活動紹介、安全・健康管理、資機材の調達、ノウハウ提供、連携協働

## 災害ボランティアセンターの機能

### ④広報

被災者に対する周知、ボランティア募集  
マスコミ対応、活動状況の記録・発信

### ⑤その他

ボランティア保険事務、クレーム対応、活動  
資金の調達、行政等関係機関などとの連絡  
調整

## 災害ボランティアセンターの三原則

被災者中心

地元主体

協働

## 巨大化する災害ボランティアセンター

- 平成26年度 広島土砂災害 約42,000人
- 平成27年度 関東東北豪雨(常総市)約40,000人
- 平成28年度 熊本地震(熊本市・益城町)約72,000人
- 平成29年度 九州北部豪雨(朝倉市)約45,000人

巨大化することで、きめ細かいボランティアコーディネーションができず、一定の活動に大量に送り出す形になったり、様々な制限を設けるような場合もみられる。

## 初動の混乱

発災直後に災害ボランティアセンターの設置を迫られるパターンが多発←地域防災計画に災害ボランティアセンターが位置付けられている市町が増加

マスコミも災害VCの動向確認で真っ先に社会福祉協議会を取材することが常態化、ボランティアからの問い合わせも集中

↓

十分な現地調査、活動先が調整できない中、ボランティアが集中、活動先の紹介ができず長時間待機させる、帰すなどの状況が発生

↓

災害VCの処理能力不足と報道されるなど尾を引く影響

## ただえさえ非日常なのに

初めての経験の中  
地元の人以外の何ができる  
誰なのか  
よくわからない人が  
続々と集まってくる  
騒然としたムード

どれだけ人が押し寄せてくるかという不安  
誰も来なかったらどうしようという不安

## 初動に行くこと(その1)

- ホームページ、フェイスブックなどの作成
- 災害ボランティアセンターの設置場所
- 受付時間
- 駐車場の確保
- 問い合わせ対応の電話回線 など

※現地状況の確認・ニーズ調査などの段階で  
あることを伝える必要性

## 初動に行うこと(その2)

- 資材や機材の確保
- 交通状況の確認
- 被災者、ボランティア活動に対する支援策等の情報収集 など

## 災害ボランティアセンターを支える ネットワーク

- ひと
- もの
- 資金
- 保険

## 広島土砂災害の経験から

- 災害での困りごとは、泥だしだけではない
- 気がかりな世帯のサポート(生活支援)
- 地元による集いの場や通いの場づくりの応援

## 平成30年7月豪雨災害では

### ①人的被害

死 者 109人(内広島市23人)  
行方不明 5人  
重 傷 49人  
軽 傷 89人

### ②建物被害

全 壊 1,085世帯  
半 壊 3,258世帯  
一部破損 1,996世帯  
床上浸水 3,234世帯  
床下浸水 5,603世帯

平成30年10月9日現在

## 平成30年7月豪雨災害では

広島県内災害ボランティアセンター設置数  
19か所(23市町中)

広島市(東区・南区・安佐北区・安芸区)／呉市／竹原市

三原市／尾道市／福山市／府中市三次市／庄原市／東広島市

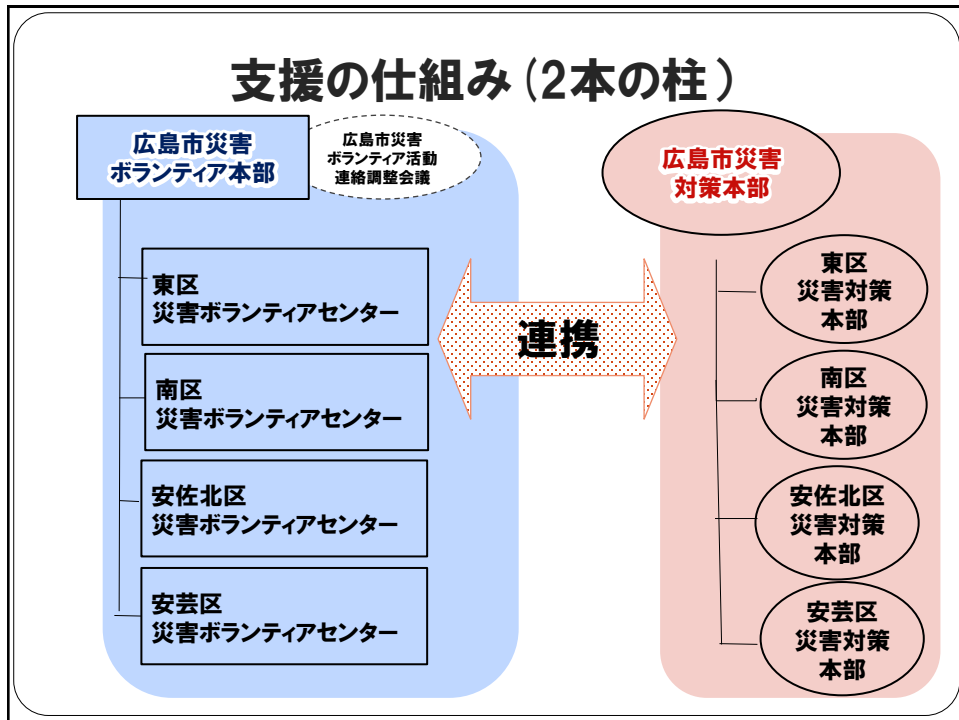
安芸高田市／江田島市／府中町

海田町／熊野町／坂町

大崎上島町／世羅町／神石高原町

平成30年7月豪雨災害に係る区災害ボランティアセンター運営状況

センター名(本部)	ボランティア活動者数	作業依頼総件数A	作業完了件数B	平成30年9月30日現在	
				残作業件数A-B	完了率B÷A %
東区災害ボランティアセンター	820	70	67	3	96%
南区災害ボランティアセンター	5,100	69	67	2	97%
安佐北区災害ボランティアセンター	11,745	80	76	4	95%
安芸区災害ボランティアセンター	12,546	727	716	11	98%
広島市災害ボランティア本部	—	—	—	—	—
合計	30,211	946	926	20	(平均) 98%



## 東区災害ボランティアセンター

（本部・馬木）

- ・開設日：7月10日
- ・活動開始日：7月14日
- ・活動者数：883名（馬木地区のボランティア含む）
- ・閉鎖日：9月20日
- ・作業完了件数：72件



## 南区災害ボランティアセンター

(似島・楠那)

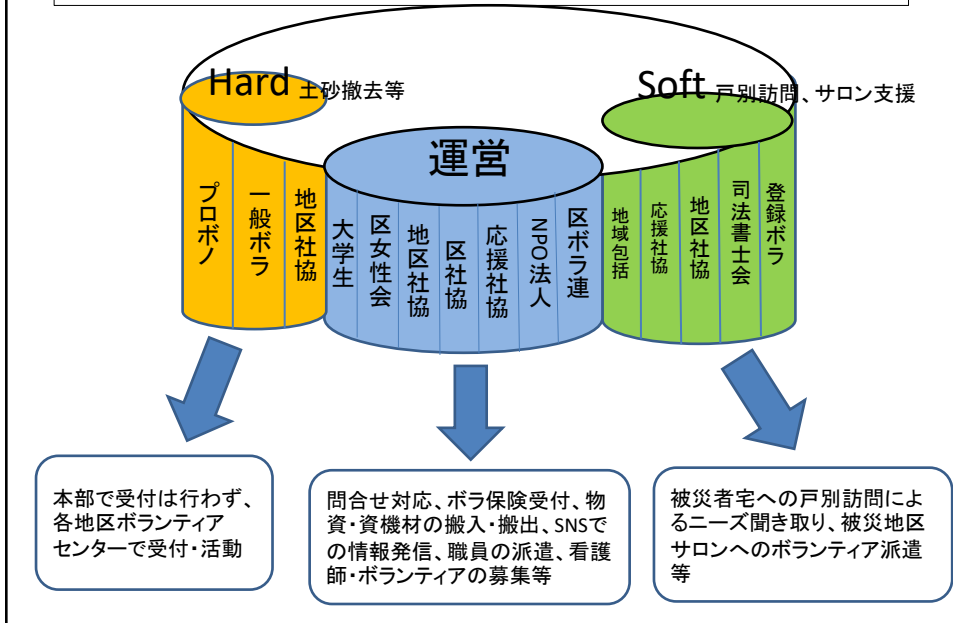
- ・開設日:7月10日
- ・活動開始日:7月10日
- ・活動者数:5,100名
- ・閉鎖日:9月30日(似島8月31日・楠那8月27日)
- ・作業完了件数:67件

## 安佐北区災害ボランティアセンター

(井原・高南・三田・狩留家・口田・口田東  
深川)

- ・開設日:7月11日
  - ・活動開始日:地区ごとに異なる
  - ・活動者数:11,784名
  - ・閉鎖日:10月31日
  - ・作業完了件数:82件
- ※本部受付のみ

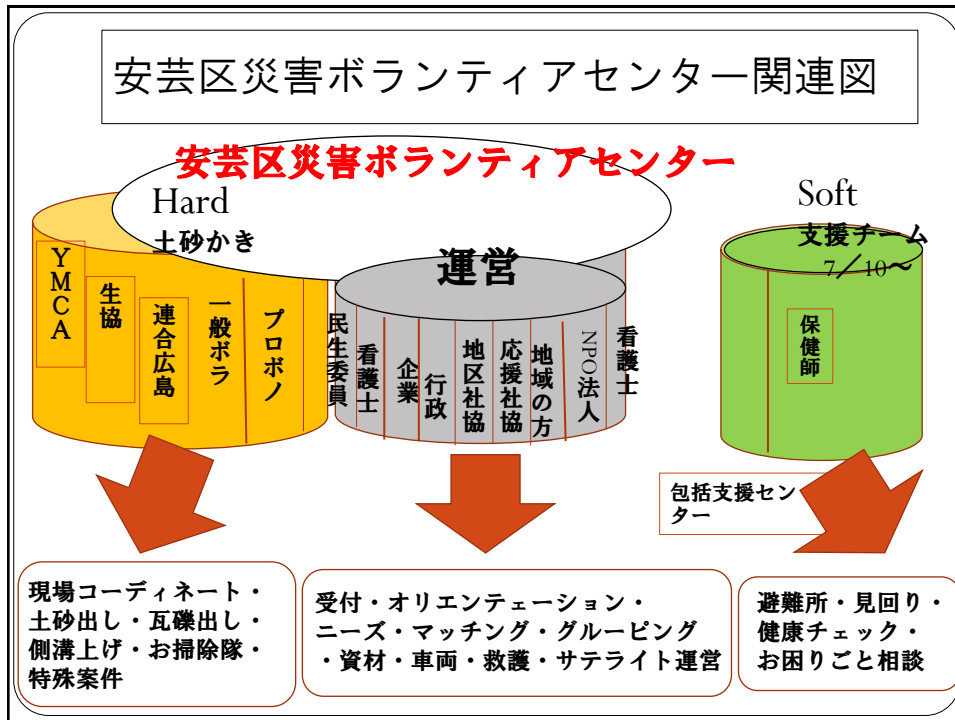
## 安佐北区災害ボランティアセンター関連図



## 安芸区災害ボランティアセンター

(本部・瀬野・畑賀・矢野・中野)

- ・開設日: 7月11日
- ・活動開始日: 7月14日
- ・活動者数: 12,746名
- ・閉鎖日: 11月30日
- ・作業完了件数: 821件



災害のとき、普段も...

みなさんの“力”が必要です。

ご清聴ありがとうございました。